

## なぜ ISO 14001 が改訂されたのか？

ISO のルールは、規格の定期的なレビューを要求している。これは、変化するステークホルダーの期待及び技術開発に対して規格が妥当であり続けることを確実にするためである。

### 背景

2011 年、ISO 14001 の改訂のための妥当性評価 (ISO/TC 207/SC 1/ N 845) が作成された。これは、次の原則に基づいていた。

市場適合性：マネジメントシステム規格は、その主たる利用者及びその他影響を受ける関係者のニーズを満たし、付加価値を与えるものであることが望ましい。

両立性：様々なマネジメントシステム規格間、並びにマネジメントシステム規格ファミリー内における両立性を維持することが望ましい。

使いやすさ：利用者が容易に一つ又は複数のマネジメントシステム規格を実施できるよう確実にすることが望ましい。

網羅性：マネジメントシステム規格は、各々の産業分野固有のものを作成するという必要性を排除又は最小限に抑えるために、適用に当たって十分な網羅性をもつことが望ましい。

柔軟性：マネジメントシステム規格は、関連するあらゆる産業分野及び文化、並びにあらゆる規模の組織に適用できることが望ましい。マネジメントシステム規格は、組織が競争的に他のマネジメントシステム規格に追加したり、他との差別化を図ったり、又はその規格を超えて自らのマネジメントシステムを高めたりすることを、阻まないことが望ましい。

技術的に健全な基盤：マネジメントシステム規格は、立証済みのマネジメント慣行又は現存する科学的に有効性が認められた関連するデータに基づいていることが望ましい。

理解のしやすさ：マネジメントシステム規格は、理解しやすく、曖昧でなく、文化的な偏見がなく、翻訳しやすく、ビジネス一般に適用可能なものであることが望ましい。

自由貿易：マネジメントシステム規格は、WTO/TBT 協定の原則に従い、モノ及びサービ

Source: “Why was ISO 14001 revised?” <https://committee.iso.org/tc207sc1>

スの自由な貿易を促すことが望ましい。

適合性評価の適用可能性：第一者、第二者若しくは第三者による適合性評価、又はこれらを組み合わせた適合性評価に対する市場ニーズを評価することが望ましい。作成されたマネジメントシステム規格は、その結果を反映し、その適用範囲において、適合性評価に使用することに適切なものであるかを明確に示すことが望ましい。マネジメントシステム規格は、合同監査を促進するものであることが望ましい。

除外：マネジメントシステム規格には、直接関係のある製品（サービスを含む。）の仕様、試験方法、性能レベル（すなわち、上限／下限の設定）、又はマネジメントシステム規格を実施している組織が生産又は提供する製品に対するその他の形態の標準化を含まないことが望ましい。

### 2015年改訂のマネデートは何だったのか？

ISO 14001:2015 改訂のマネデート（2012年1月23日付）は、次の事項を規定していた。

1. 改訂は、マネジメントシステム規格（MSS）のための上位構造（HLS）、並びに共通の中核となるテキスト、共通用語及び中核となる定義に関連する、ISO で承認された要求事項及び適用ガイダンスに基づかなければならない。
2. 改訂は、ISO/TC 207/SC1 “Future Challenges for EMS” スタディグループの最終報告書を考慮しなければならない。
3. 改訂は、ISO 14001:2004 の基本原則の維持及び改善、並びに既存の要求事項の保持及び改善を確実にしなければならない。

### 上位構造とは何か？

上位構造（HLS）は、ISO マネジメントシステム規格のための新たな共通の枠組みであり、共通の中核となるテキスト、共通用語及び中核となる定義を包含している。

これは、複数の ISO マネジメントシステム規格を実施する利用者の便益のために作成されたもので、いかなるマネジメントシステム規格にも適用可能である。

Source: “Why was ISO 14001 revised?” <https://committee.iso.org/tc207sc1>

これによって、分野固有な柔軟性を与えつつ、ISO マネジメントシステム規格間の両立性が可能となる。

### “Future Challenges for EMS” とは何か？

2010年に環境マネジメントシステムの将来の課題に関するスタディグループが、次のような将来の環境マネジメントシステムに関連する11のテーマについて詳述した報告書を発行した。

- ・ 持続可能性及び社会的責任の一部を成す。
- ・ 環境パフォーマンス（の改善）を含む。
- ・ 法的及びその他の外部要求事項の順守を含む。
- ・ 全体的な（戦略的な）ビジネスマネジメントと関連付けられる。
- ・ 適合性評価と関連付けられる。
- ・ 小規模な組織の中での利用を促進する。
- ・ バリューチェーン／サプライチェーンにおける環境影響を考慮する。
- ・ ステークホルダーエンゲージメントを考慮する。
- ・ 同位の又は下位のシステムを管理する（温室効果ガス、エネルギー）。
- ・ 外部コミュニケーション（製品情報を含む。）を反映する。
- ・ 国家（間）の政策議題の一部を成す。

これらの11のテーマがISO 14001の改訂に関する勧告となり、規格が開発された。